

15.11.2
295

大正十五年十一月十五日

東京瓦斯電氣工業株式會社

技工諸君に告ぐ

今回當會社が紡織機工場を閉鎖した事に就ては去月十八日以来何回となく諸君の代表者に説明致しましたに拘らず不幸にも爭議となつた事は誠に遺憾なる次第であります、諸君に於ても随分迷惑千萬の事だろうと推察致します、就ては事實の真相を今一應茲に繰返して申述べ事に致します、會社は歐州戦争中の輸入杜絶に鑑み紡織機製造事業を創めました此事業は紡織業の我産業界に於ける地位並に近く實施せらるべき深夜業の停止等に考へ合せて將來相當繁忙を來すこと、信じました、然るに大正九年經濟界の恐慌以來同工場の維持經營は中々困難となつたに拘らず尙將來を樂しみに随分忍びに忍んで來たのであります、其後詳細なる調査に依りますと絹糸紡織機は甚しき不景氣の爲め當分思はしき註文の見込がありませぬのみならず絹紡其の者の將來も亦見込が薄いのであります、そこで會社では昨年末此方綿糸紡織機の製造をも圖ると同時に、各紡績會社を度々訪問して其註文引受方を極力奔走して來ましたが、何分財界不振の爲め意の如くならず、前途もまだ一途遠で會社が如何に努力しても此先どうして良いか到底維持の見込みさへ立たぬ場合に立到りました、今迄も成績の思はしくなかつた同工場は今後如何にして活路を求むべきか頻りに攻究致しましたが、前途の明かならぬ事業に執着して損失を重ね無理にも今後尙之を維持せんとする事は、或は延いて累を他の事業に及ぼすに至るは免れ難き處と存じます、そうした場合會社は勿論技工諸君の不利大なるは明かなる事で、場合に依つては共倒れの憂目を見るかも計り知れませぬ、會社は其れ故諸君と共に轉ばぬ先の用心の爲めに遺憾ながら遂に同工場の閉鎖を決心したもので、熟慮に熟慮を遂げた結果でありますから、決して一時的の閉鎖でない事を茲に重ねて明かに致します、次ぎに右の通り同工場閉鎖に伴ひては、夫れに従事せる技工諸君の失業であります、是れは時節柄誠にお氣の毒でありますから、會社では何とか他部の工場中へ割込ませ渡いと種々相談も重ね考慮も致しましたが、此方法は此頃の様に仕事の隙な時に於ては

法人協